

# 2011 年度 第 7 回 カンボジアプロジェクト ミーティング議事録

7月8日(金)

参加者：吉田、江口、曾利、増田、原、肥田、若松（敬称略）

遅刻：平川、大福

欠席：Ly、安富、

司会：増田

議事録：若松

## 【本日の議題】

1. 連絡・進捗状況
  2. ワークショップ
  3. 輪読
  4. 世界銀行
  5. 諸連絡
- 

### 1. 連絡・進捗状況

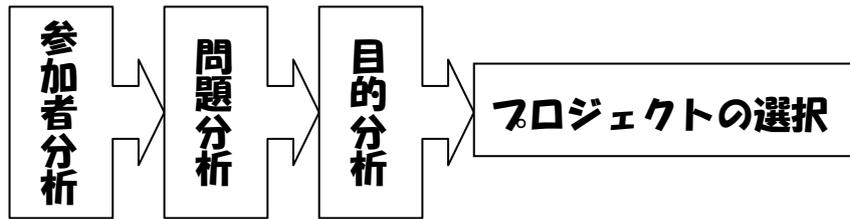
#### ◆ 交流学习について

- 7月9日(土)：9時50分にミューズ前集合
- 服装
  - ◇ 私服(汚れてもよい服で)
- メンバー
  - ◇ 平川・曾利・大福・江口・増田・肥田・安富・若松
- 小学3年生のおもちゃづくり
  - ◇ グループに分かれる(1グループ：7～8人)
  - ◇ 作り方を mac でスライド作成→1枚
    - テンプレートは先生から！！
  - ◇ おもちゃ作りの過程
  - ◇ 向こうの子どもが見て分かる作り方(日本語)
  - ◇ 写真
    - グループメンバー(1枚)
    - 遊んでいる写真(1枚)
    - 作っている手順(テンプレートに合わせて)
- 役割

- ◇ ビデオ係：曾利
    - 臨機応変にフォローもする
  - 持ち物
    - ◇ 私はできる！という心意気・学生証（必須）
- ◆ きらめきときめき
  - 運営者募集中！
    - ◇ あと一人、希望者は千穂さんまで！
- ◆ アジアンブジャ
  - ブースのリーダー
    - ◇ 安富
    - ◇ 曾利
    - ◇ 肥田
  - グループ決め
    - ◇ エコバック作り【肥田】
      - 増田
      - 原
    - ◇ 民族衣装を着て写真【曾利】
      - 江口
      - 若松
    - ◇ スカイクで交流：【安富】
      - 大福
      - Ly
- ◆ 助成金
  - 江口・増田
    - ◇ 見つけ次第、成一さんまで！

## 2. ワークショップ

- ◆ ねらい：学生の私たちにできることを考えてみよう！
- ◆ カンボジアのマサヨシ村での事例
  - PCM (Project Cycle Management)
    - ◇ 援助機関と途上国の関係者が参加し、一緒に議論を重ね、問題解決を行うアプローチを見つけるというマネジメント法。
    - ◇ 問題を分析した後で、学生にできることを考える
  - Click to add content
    - ◇ 実行可能性を考えて行う



- ①ブレインストーミング
  - 論理的に考える
- ②問題を細かく分析する
  - 何が問題となっているのか・・・？
- ③理想なかたちとはいったい何なのか？
  - ネガティブな考えをポジティブに！
- ④私たち学生にできることとは何なのか？

◆ グループ分け

- 曾利・江口・増田・大福
- 肥田・原・若松

◆ 事例

➢ 教育問題に関わる事例

- カンボジアのマサヨシ村には 350 世帯の人が住んでいる。
- 1 世帯の子どもの数は平均 6.5 人である。
- 住民の 95% の人は農業で生計をたてているが、現金収入は少ない。
- 親世代はポルポト派政権時代を生き抜いた人たちである。
- この村では、健康(栄養状態)、衛生(安全な水の確保)、家庭(出稼ぎによる父親不在)などのさまざまな問題があるが、他の村と比べても一番の問題といえるのは **子どもの就学率が著しく低いこと** である。

➢ 「なぜマサヨシ村では子どもの就学率が低いのか？」

- この問題が起こる理由(背景・問題)について考える。

◆ 私たちにできることは？

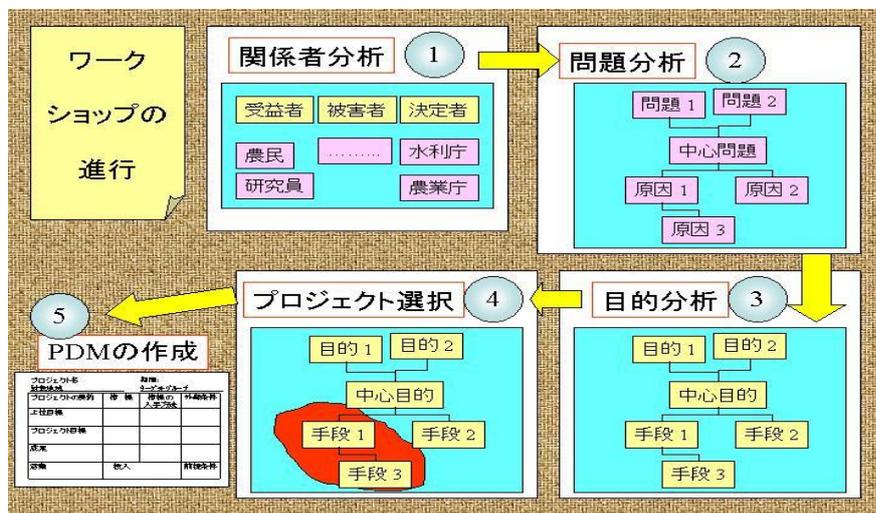
➢ 問題をもっと分析

◆ 関係者分析

- |         |           |
|---------|-----------|
| ・ 子ども   | ・ 小学校     |
| ・ 親     | ・ 教員      |
| ・ 教育省   | ・ 村長      |
| ・ 地方自治体 | ・ NGO     |
| ・ 教育養成校 | ・ 私たちスタッフ |

◆ 問題分析

- 中心問題はなぜ起こるのか？「原因—結果」を明らかにし、階層図で視覚的にわかりやすい図にしていく



<http://pcmtokyo.tripod.com/pcmwhat.htm>

3. 輪読 (増田)

◆ 輪読箇所：第11章「教育開発」

◆ ディスカッション

- 教育の質の向上 (解消以外に必要なものとは?)
  - ◇ 教員の質の向上
  - ◇ 自分たちの置かれている社会現状を把握
  - ◇ 教育制度の改訂
- 国際協力の問題点 (専門性の高い人を派遣するために)
  - ◇ ボランティアではなく、国際協力を企業化する
    - ボランティアの延長であるから、資金があまり出ない
    - ボランティアでは専門性のある人は企業にいつてしまう・・・

4. 世界銀行について

◆ 資金調達方法

◆ 5つのグループを併せて『世界銀行』という

- ① 国際復興開発銀行
  - ◇ 貧困国への融資・保障・分析・助言サービスなどの日融資業務を提供
- ② 国際開発協会
  - ◇ ①の姉妹機関

- ◇ 国連の専門機関で、
- ③ 国際金融公社
  - ◇ 民間への投資支援や技術支援
- ④ 多数国間投資保証機関
  - ◇ 保険会社のようなところ
  - ◇ 投資家が途上国に行う投資の非商業リスクを保証
- ⑤ 国際投資紛争解決センター
  - ◇ 国際投資紛争の調停と仲裁を行う場を提供
- ◆ 日本と世界銀行
  - 世界銀行の卒業国
  - 日本は第二の資金供与国
- ◆ 肥田ちゃんが作ってくれた『世界銀行』のプリントをじっくり読み、各自しっかり理解しましょう！
  - 分からないところは調べる！
  - 調べても分からなければ、千穂さん or 成一さんに聞いてみる！

## 5. 諸連絡

- ◆ Facebook に書き込む
  - アジアンプジャの自己紹介
- ◆ 次回ミーティング
  - 7月22日（金）18時～
- ◆ 次回輪読
  - Lyさんが教育実習中のため、原がおこなう。
  - 予定変更については、またPOで確認しておいてください。